

## 安全衛生マネジメント

## 安全衛生マネジメントシステムの推進

当社グループでは、建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)の適切な運用を図っています。

2014年度の事故・災害の総件数は、43件(前年比108%)と前期に比べ増加しました。内訳では、労働災害が19件(同106%)、第三者損傷が13件(同163%)、交通事故が9件(同90%)、その他2件(同50%)となり、特に物損事故11件を含む第三者損傷が大幅に増加いたしました。

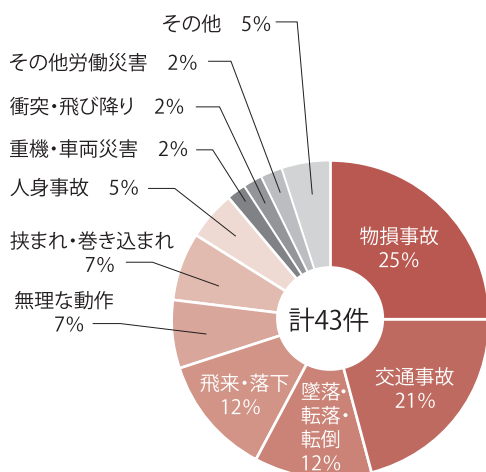
第三者損傷では、過年度の教訓が生かされず、地下埋設物損傷事故、架空線(標識)等損傷、切削・草刈り作業による飛散、乳剤散布作業等の養生不備などで第三者へ損害を与えてしまいました。

2015年度の安全衛生方針は、昨年度に引き続き『人命尊重を最優先した安全第一主義を徹底し、労働安全衛生マネジメントシステムの継続的改善を行い、「安全文化」を定着させる』といたしました。全員で声をかけ合って安全意識を共有するとともに、3S(先取り・指示・参加)を徹底させ、事故・災害の防止に努めてまいります。

## 2015年度重点実施事項

1. 3点セットの見える化を図り、安全施工サイクルの確実な実行による労働災害事故の撲滅
2. 地下埋設物・架空線等損傷事故防止チェックシートの活用による第三者損傷事故の撲滅
3. セーフティーコール／指差の併用実施による交通事故の撲滅(運転中のスマホ厳禁)
4. 建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)の適切な運用と職員教育および協力業者の教育・指導

2014年度事故・災害発生原因の内訳



当社の事故災害発生総件数および労働災害発生度数率の推移

